

南消防署 高規格救急自動車仕様書

第1 総則

1 適用

本仕様書は、吹田市消防本部（以下「当本部」という。）が、令和8年度消防車両更新事業として製造する、高規格救急自動車（以下「救急車」という。）について適用する。

2 関係法規

この救急車は、本仕様書に定めるものの他、道路運送車両法等関係法規に適合し、緊急自動車として承認が得られるものであること。

3 承認図

当本部との契約業者（以下「艀装業者」という。）は、救急車の製作にあたり、下記の書類を承認図として当本部へA4ファイル綴りで2部提出し、承認を受けたのち製作を開始すること。

なお、承認図提出前に当本部と製作車両の艀装について十分協議し、当本部の仕様を十分に反映させること。

(1) 一般艀装図（五面図「正面、左右側面、後面、上面」）

(2) 電気系統図

(3) 主要諸元表

(4) 工程表

(5) 軌跡図

(6) その他当本部の要求する書類

4 疑義

本仕様書並びに製作中に疑義が生じた場合は、当本部の指示を受け処置すること。

5 車両管理

納車するまで、資器材メーカー等と連絡を密にして十分な打ち合わせを行い、相互協力のうへ作業の円滑を図ること。

また、車両の管理には細心の注意をはらうこと。

6 留意点

製作にあたっては、特に次の点に注意すること。

(1) 軽量、頑丈、優美であること。

(2) 積載品は、取付け取外し、収納及び取出しが容易に行えること。

(3) 製作全般にわたり、厳重な検査で実施すること。

(4) 本仕様書で明記していない箇所で、艀装するうえで当然すべきことは、艀装業者で責任を持って実施すること。

(5) 同等品以上を使用する場合は、質疑受付期間中に機種本体及び仕様を示す資料を当本部に提示し、当本部の承認を受けたものに限る。同等品の解釈は当本部の判断によるものとする。

7 検査

車両納入業者は、当本部が実施する次の検査に立ち会い、検査において不都合な箇所を発見の際は、すみやかに処置すること。

なお、検査に係る一切の費用（交通費含む）を負担すること。検査は、当本部の

検査員が2名から4名で実施するものとする。

(1) 中間検査 2回以上実施予定

(2) 完成検査

8 新規登録検査

完成車は、運輸支局の新規登録検査を受け合格後、燃料タンクを満量にして当本部へ納入すること。

9 保証

車両の保証期間はメーカーの定める期間とし、その他の箇所にあつては、納車後1か年とする。

ただし、設計不良及び材質等に起因する不都合な箇所を発見の際は、無償で取替え又は修理を行うこと。

10 提出書類

新規登録検査後すぐに下記(4)(5)の各1部を当本部へ提出すること。

完成車納入の際、又はそれ以前に下記(1)(2)(4)(5)及び上記承認図を完成図書として、A4サイズのファイルに綴り当本部へ2部提出し、下記(3)、(6)から(10)までの書類は別途提出すること。

(1) 自動車改造計算書 2部

(2) 車両重量実測表及び計量証明書 2部

(3) 車両取扱説明書 2部

(4) 自動車検査証写し 3部

(5) 完成車写真 3部

A4紙1枚にナンバープレート入り前後・左右・ストレッチャー積載写真
計5枚を収めカラー印刷したもの

(6) 納品書 1部

(7) 納品内訳明細書 1部

(8) 請求書 1部

(9) 請求内訳明細書 2部

(10) 車両整備要領書 2部

(11) その他当本部の要求する書類

11 納入期限及び納入場所

納入期限は令和8年12月25日(金)とする。納入場所については、当本部から別途指示する。

12 その他

(1) 本仕様書に明記されていない点は、メーカー公表最新の標準仕様とする。

(2) 車両及びシャシ関連資器材の取扱い説明を納車日から1週間以内に2回以上実施するほか、当本部の求めに応じ、取扱い説明を実施すること。

第2 仕様

1 概要

ワンボックス型救急車で、メーカー公表の最新型低排出ガス車とする。

2 完成車両諸元

(1) 全長 5,660mm以下

- (2) 全幅 1, 900mm以下
- (3) 全高 2, 550mm以下 (アンテナ含まず)
- (4) ホイールベース 3, 390mm以下
- (5) 乗車人員 7名以上
- (6) 車両総重量 3, 400kg未満
- (7) リアハッチ開口高さ 1, 670mm以上

3 主要諸元

- (1) エンジン 水冷4サイクルガソリン
- (2) 総排気量 2, 488cc以上
- (3) 最高出力 108Kw (147ps)以上
- (4) 最大トルク 213N・m (21.7kgf・m)以上
- (5) 最小回転半径 6.4m以下
- (6) ステアリング パワーステアリング
- (7) ミッション 6速・オートマチック
- (8) 駆動方式 4WD
- (9) エアコン メーカー純正 (フロント・リヤ)
- (10) タイヤ ラジアルタイヤ (高規格救急自動車用)
- (11) ヘッドライト LED式
- (12) ドライブレコーダー Driveman PS-2 タイプ2 ※詳細下記記載
- (13) バックモニター付ナビ メーカー公表最新型
- (14) フォグランプ
- (15) 音声メッセージ
- (16) 後退警報器
- (17) フロントコーナーセンサー
- (18) パノラミックビューモニター
- (19) デジタルインナーミラー
- (20) 運転支援装置

4 外装部

- (1) 車体の塗装色及び赤色ラインのテープはメーカー最新公表の形状とし、両側面、後部及びバックドア下部には再帰性に富んだ反射材を使用した赤帯ラインテープを取付けること
- (2) 運転席及び助手席には、乗降時の滑り止め処置を講ずること。
また、乗降時につま先等による塗装面の傷つき防止のため、立ち面付きアルミ縞板を貼付けすること。
- (3) 後部乗降用ステップは、アルミ縞板製プロテクターを設け、滑り止め処置を講ずること。リアバンパーにはアルミ縞板製プロテクターを設けること。
- (4) 左側スライドドア乗降口ステップは、アルミ縞板を貼付け、滑り止め処置を講ずること。立面にはアルミ筋板を取付けること。
- (5) 車両右側面には、外側から取出し及び収納が可能な収納庫を設け、レスキュー資器材6点 (レスキューアックス、クリッパー、バール、救助はさみ、ガラスカッター、シートベルトカッター) をバンド等で固定する等、走行中に脱落しないよう取付けること。

また、開放時に収納庫を照らす照明装置を開閉連動式で取り付け、照明装置付近には単独スイッチを設けること。

(6) 患者室内窓ガラスフィルム及びカーテン

ア) 右側面

全面 「白色フィルム」

イ) 左側面

スライドドア 下2/3 「くもりフィルム」、カーテンあり

クォーター部 全面 「くもりフィルム」、カーテンなし

ウ) 後面

全面 「くもりフィルム」、カーテンなし

(7) 左側面にポールスリーブ（旗立てパイプ水抜き付）を取付け、訓練旗を黒文字「訓練」ポール付き（ポールスリーブ取付け時、出が360mm）で用意すること。

(8) 左フロントドアに助手席用アウトサイドミラーを取付けること。

(9) フロントパネル中央部に消防マーク（150mm）を取付けること。

(10) 車幅灯、後退灯、番号灯をLED式とすること。

(11) 両側スライドドアに、開放した際の視認性を高めるため、スライドドアの車両後部側に再帰性に富んだ反射材を貼付けすること。

(12) バックドアにドアエッジを取付けること。

(13) バックドア内側のストレッチャー架台ガイドと接触する箇所に、保護板を取り付けること。保護板は防振架台がどの位置にあっても保護できるような長さにすること。

(14) 文字記入及び明示ステッカー

文字はすべて左から右書きとし、再帰性に富んだ反射材カッティングシールを使用し、丸ゴシック文字とすること。

また、車両納入前に、ステッカーの剥がれ等がないことを確認し、使用後もステッカーの剥がれが発生しないような貼付けとすること。

ア) フロントドア左右

ドア部分には、当本部が支給するステッカーを貼付けすること。前輪のタイヤハウス前側に「南1」（青色）を表示すること。

イ) 左右側面

左右側面は、ルーフ側面部分に「OSAKA SUITA FIRE DEPT.」（山吹色青色塗りつぶし）を表示すること。

スライドドアには、「吹田市消防本部」（青色）を表示すること。

ウ) 車両正面

ボンネット運転席側の赤帯上部に、「南1」（青色）、助手席側の赤帯上部には「吹田消防」（青色）を表示すること。

また、フロントガラスとフロント散光式赤色点滅灯の間に、「SUITA FIRE DEPT.」（山吹色青色塗りつぶし）を表示すること。

エ) 車両後部

ハイマウントストップランプ上部に「SUITA FIRE DEPT.」（山吹色青色塗りつぶし）を表示すること。

また、後部はリヤガラス下に「吹田市消防本部」（青色）を表示し、バックドア右下隅に「南1」（青色）を表示すること。

オ) 車両上部

「大阪吹田救急」（黒色）の対空表示を行うこと。※詳細別途協議

カ) 明示ステッカー

患者室内、右後ルーフサイド収納庫に「シートベルトの着用をお願いします。」の注意喚起文章をシール等で明示すること。

また、各操作スイッチ等についても明記されていないものについては、シール等で明示すること。

その他、当本部が指示する位置に明示ステッカーを貼付けすること。

5 内装部

内装部は、空間スペースを有効に活用し、下記の仕様を十分に満たし資器材等の収納が可能なものとする。※詳細別途協議

(1) 運転室内

ア) 運転室内天井部に、ティッシュ・グローブボックスを中央に設け、左右にネット収納袋を取付けすること。（ネットの下部は抜け落ち防止措置をすること。）

イ) 助手席から患者室が確認できるインナーミラーを取付けすること。

ウ) 運転席と助手席の間にA3サイズ蓋付収納箱を取付けすること。

また、蓋上部には滑り止めシートを貼付けすること。

エ) 運転席後方に、A3サイズ地図入れを取付けすること。

オ) 消火器を、助手席後方に取出しが容易にできるよう取付けすること。

カ) 運転席及び助手席後部にヘルメット用フックを3箇所設けること。

キ) 運転席と患者室は移動等ができるよう開放式とすること。

ク) 助手席右後方にコンセントを設けること。

ケ) 運転室内にはフローアーマットを設けること。

(2) 患者室内

ア) 小物吊下げ用フックを患者室に5箇所及び天井に5箇所設けること。

イ) ウェルパス1L収納庫をスライドドア乗降口付近に設けること。

ウ) 換気扇フィルターの脱着が可能な電動型換気扇を設けること。

エ) ACで使用できるオゾンガス除菌用BT-03を車内右棚中央上部付近に容易に脱着が可能なように取付けすること。

また、蓋が振動等で外れない措置を施すこと。

オ) 天井中央部には、アシストグリップを2箇所設けること。

また、それ以外にもルーフサイド収納庫下部にアシストグリップを2箇所以上設けること。

カ) 付き添い人用ベンチ型シート2名分を設け、シートベルトを取付けすること。

なお、着座した付添人を適切な位置で固定できるものとする。

キ) バックドアからの乗降用に、長尺グリップ（保護パット付き）を設け、下部にもグリップを設けること。

ク) バックドアには、バックドアストラップ（長）を取付けすること。

ケ) ルーフサイドには、アナログ時計及び電波時計を取付けすること。

コ) 天井内張りの必要箇所に、電気配線等の点検口を設けること。

サ) 床面は、水洗い等の掃除が容易にできる構造とし、出来得る限り、シーリングを施すこと。

シ) 室内灯を調光式LEDにすること。

ス) 電気配線等の点検口に支障がないよう配慮した上で、患者室内天井部に感染症対策製品のアングルを取付け、同アングルに感染症対策ビニールカーテンを取付けること。 ※詳細別途協議

セ) 運転席と患者席ウォークスルー部に間仕切りカーテンを設けるとともに、マジックテープで取外し可能な透明ビニールシートで間仕切りを設けること。

6 収納関係

資器材収納庫等は、収納資器材に応じて棚又はマジックベルトなど固定装置を設け、走行中及び患者処置中に脱落等が起らないよう艤装すること。

また、下記の仕様を十分に満たすよう資器材及び収納庫を配置し、収納庫には可能な限り扉を設けること。扉を設ける場合は、重量を考慮したアクリル製を主に使用すること。 ※詳細別途協議

- (1) 患者室内に、大型縦式収納庫を1箇所設けること。収納庫は、棚板2段式とし、取外し及び高さ調整ができるものとする他、収納庫扉は収納庫最下部から500mm以上の高さ位置に取付けすること。 ※扉軸可動部は化粧加工実施

収納庫扉及び側面は、全面マグネット仕様とし、収納庫扉上部にマグネット式A3型ホワイトボードを取付け、中央部にマグネット式ティッシュ・グローブボックスを2個取付けすること。

また、扉内側にはネット収納袋を1段で取付けすること。

- (2) 左側スライドドア開口部付近に収納庫を1箇所設けること。

また、手洗い装置を標準で装備している場合は、収納庫へ改造し、上面にステンレス製のトレイを設けること。 また、側面（地図収納箱側）にバンド等で安全誘導灯2本を固定すること。

- (3) ルーフサイドには、患者室右前、右後、左前及び左後の4箇所に資器材等が脱落しないよう扉の付いた収納庫を設けること。

なお、左前はLEDランプ付きとすること。

- (4) 助手席後部にパーテーションボードを設け、パーテーションボードにAVMを取付けすること。

- (5) 後部ドア付近に、スライド式扉の収納庫を設けること。収納庫内の横仕切り棚は、位置調整が可能なものとする。

また、当収納庫の前側には汎用メディカルポールを取付けること。

- (6) 酸素ボンベ収納庫上部に2段収納庫（上段にタブレット端末が収納できるもの。）を設け、その付近にACコンセントを設けること。

- (7) 3段収納庫後側には吸引器（レールダルサクシオンユニットLSU4000）を積載できる架台を取付け、架台下付近には吸引カテーテル保持用パイプを設けること。

- (8) 患者室内に自動体外式除細動器（旭化成ZOLL製 AED Pro）及び自動体外式除細動器（旭化成ZOLL製 Xシリーズ）を積載できる架台を取付けること。架台位置については、旭化成ZOLL製AED Pro架台を前側とすること。

また、旭化成ZOLL製AED Pro架台上レール部には携帯用酸素人工呼吸器

(メデュマット・イージーCPR)を収納できるようにすること。資機材はすべてにおいて容易に取外しが行えるようにすること。

(9) 鍵付き引出式収納庫とAED Pro架台の間、AED Pro架台とXシリーズ架台の間及びXシリーズ架台下部部分に落下防止のつい立てを取付けること。

(10) 天井部には、ルーフネットを3箇所設けること。

(11) 患者室前向きシートは、ハイバックシートで3点式シートベルトを具えたものとする。

また、ハイバックシート座席下には、2L酸素ボンベ引出式収納を設けること。

(12) 付き添い人用横向きシート下に、当本部が所有する2L酸素ボンベすべてに対応できる積載架台を2本分設けること。

(13) 現場携行用オキシゲンバッグ(2L酸素ボンベ含む)の取出しと収納が容易な可動式保護収納箱を設けること。

また、車内で使用する10L酸素ボンベ2本の医療器具収納箱を設け収納すること。10L酸素ボンベは、走行時に脱落、移動等が起こらないよう確実に固定でき、かつボンベ取替えが容易にできるものとする。 ※詳細別途協議

(14) 患者室内に引出式収納庫を2箇所設けること。

また、1箇所を鍵付き収納庫とすること。

(15) 運転室内と患者室のウォークスルー部分に、A3サイズ地図収納箱と併せて収納台座を作成すること。収納台座は、自動体外式除細動器が設置可能なものとし、走行中脱落等が発生しないよう、ベルト等で固定できるようにすること。また、台座上部には滑り止めシートを貼付けすること。

(※標準仕様で地図入れを取付けている場合は、移動させ収納台座と確実に固定すること。)

(16) メインストレッチャー収納架台横にスペースを設け、スクープストレッチャーバックボード等各ストレッチャーを収納すること。

また、スペースには当本部が使用する救急資器材を収納するため、脱落等防止措置を講ずること。

(17) 薬事法に定める医療器については、医療器業者と連絡を密に調整し適切に取付けられるようにすること。

また、当本部が支給する資器材の取付け等については、資器材納入業者と連絡を密に調整し適切に取付けすること。 ※詳細別途協議

7 医療機器等

(1) 加湿流量計及び減圧器

10L酸素ボンベ2本を収納する場所の上部に、当本部が支給する減圧器、圧力計及び三方チーズを設け、専用パイプを介して患者室右側上に設置した加湿流量計に接続すること。圧力計の指針は、患者室内から見通せるように設置すること。

また、酸素吸入装置(OX-III S)用配管及びマスクを収納する専用の収納装置を患者室に設置すること。

(2) 配管

酸素ボンベから加湿流量計までの配管は、十分な強度及び耐久性を有し内張り内に体裁よく裏配管を敷設し納めること。

(3) その他

酸素ボンベ収納庫の窓は開放とし、保護枠を設けボンベハンドル台座を取付けすること。

8 ストレッチャー

(1) メインストレッチャー

エクステンジTC4080-S（ガードルキット及びSoftenピロー付き）を積載すること。

また、マットレスは抗菌マットレスとすること。

(2) 収納装置

メインストレッチャーを収納するために、スイング・サポートSK1 R051-FB02・R610-FB12を設け、メインストレッチャーを確実に固定し、かつ容易に解除できる装置を装備すること。

また、防振架台は、左右にスライドできる構造とする他、メインストレッチャーの出し入れで損傷することのない、強固な素材を使用して製作すること。

9 特殊艤装

(1) 赤色警告灯

フロントルーフ部及びリヤルーフサイド部には、メーカー最新型のキャブ一体型赤色警告灯及び赤色警告灯を設けること。

(2) 赤色点滅灯

ア) フロントバンパー上部左右に大阪サイレン製LFA-150を取付けすること。

イ) フロントバンパー左右両側面に大阪サイレン製LFA-100を取付けすること。

ウ) バックドア上部に小糸製作所製（2灯）を取付けすること。

エ) バックドア側面に貼付け型のLED赤色点滅灯（開閉連動式）を貼付けすること。

また、バックドア底面にも赤色点滅灯（連動式）を設けること。

オ) フロントドア後部にLED赤色点滅灯（開閉連動式）を貼付けすること。

(3) サイドフラッシャーランプ

スライドドア左右上部のルーフサイドにウインカー連動式のサイドフラッシャーランプを取付けすること。

(4) 路肩灯

後輪左右フェンダー部に取付けること、スイッチについては、スモールランプ連動式とする。

また、センターコンソール付近にスイッチを設けること。

(5) 患者室照明

救急処置に支障のない明るさを有するLED室内灯及び患者灯を設けること。

また、バックドアには、LED式スポットランプを取付けすること。

(6) 電子サイレンアンプ

TCD製「N160-CP01」、「NX11-CP01」及び「N350-CP01」（ステアリングスイッチ フレキシブルマイク付き）を取付けること。

(7) サイレンウー音

電子サイレンアンプのウー音スイッチ（ONで吹鳴し、OFFで切断）をステアリングに取付けすること。

(8) 電流計・電圧計

夜間照明付きの丸型メーターをコンソールボックスに取付けすること。

(9) 出動予告スイッチ

サイレンアンプに内蔵された出動予告放送機能をスタートさせるスイッチをセンターコンソール付近に取付けすること。

(10) 音声メッセージ用スイッチ

サイレンアンプに内蔵された、交差点及び直進メッセージを発生させるスイッチをそれぞれ単独でセンターコンソール付近及び運転席インパネ付近に取付けすること。（合計4箇所）

(11) 右左折メッセージ用スイッチ

サイレンアンプ内蔵メッセージ発生用のスイッチを、センターコンソール付近の運転席側に設けること。

(12) 後退警報器

バック音声合成メッセージのメインスイッチを運手席側に取付けすること。

(13) マップランプ

助手席ピラ付近にLED式マップランプを設けること。

(14) 無線受話器及びスピーカー

患者室内の当本部が指定する位置に取付けすること。

(15) 車両盗難防止装置

装置使用状態では、解除しない限り、救急車を動かそうとした際、警告音が鳴り、車両を動かすことができないようにすること。

また、装置使用状態であっても、車外から車両ドアロックが可能なものとする
こと。

(16) インバーター

患者室内で資器材が使用できるようにスイッチを設けたインバーターを設置し、使用時の注意喚起ステッカーを貼付けること。

出力コンセントは、運転室内助手席右後方に2口、患者室内医療機器設置場所付近に8口以上設け、助手席右後方コンセントから電源をとり左側スライドドア開口部付近の収納庫部分にマグネット式2口タップを取り付けること。

なお、コンセントの位置は全て容易に使用できる位置に配置すること。

(17) 電源自動切替改造

車両走行中は、インバーターからの電源、署内待機中は外部入力AC100Vに切り換えできる改造をすること。

(18) 小型充電器

充電器SA-12PXを取付けし、外部入力AC100Vから電源供給時に充電器を介してバッテリーを充電できるようにすること。

また、外部入力は、マグネット式コンセント（コード1.5m）をリヤバンパー助手席側に取付けすること。

(19) スターターカット改造

外部電源入力中にエンジンスタートが出来ないように改造をすること。

また、外部入力中を示すインジケータランプを取付けし、入力中にエンジンキーをONにすると警告音が鳴るようにすること。

(20) アースボンディング

無線機等に雑音が入らないよう、ボンディングワイヤーを左右フロントドア及びボンネット部に講じて、雑音防止の措置をとること。

(21) 各種電装品の電源

各種電装品の電源は、キースイッチONで入り、OFFで全て切れること。

(22) その他

薬事法に定める医療器については医療器業者が取付けるので、医療器業者と連絡を密に調整し適切に取付けられるように配慮すること。

10 無線電話装置

当本部が所有する南消防署救急車（型式：3BF-TRH226S）から車載無線電話装置等（本体、送受話器）を取外し本機装車両に取付けること。（配線、アンテナは新たに取付けること。）

また、非常用救急車（型式：CBF-TRH226S）から車載無線電話装置等（本体、送受話器）を取外し南消防署救急車に取付けること。

取外し取付けの際は、指定する無線工事業者と調整し、適正に取付けさせること。

11 指令端末装置

当本部が所有する南消防署救急車（型式：3BF-TRH226S）から指令端末装置等（本体、車内設定機）を取外し本機装車両に取付け、非常用救急車（型式：CBF-TRH226S）から指令端末装置等（本体、車内設定機）を取外し南消防署救急車に取り付けること。

また、取外し取付けの際は、指定する指令端末工事業者と調整し、適正に取付けさせること。指定する指令端末工事業者と調整する際は、当本部の車両である旨を必ず伝えること。

12 その他

車両製作中に行わなければならない配線（アンテナ電源・制御線）の工事等に際しては取付け業者と協力して実施すること。

第3 補助規格取付品及び付属品

品名	備考	数量
1 赤色警告灯及び赤色点滅灯		
(1) フロントルーフ	キャブ一体型赤色警告灯 M150-TM02 (アクティビターコン)	1式
(2) リヤルーフサイド		1式
(3) フロントバンパー上部	大阪サイレン製LFA-150	1式
(4) フロントバンパー両側面	大阪サイレン製LFA-100	1式
(5) フロントドア後部	貼付け型LED	1式
(6) リアバックドア上部	小糸製作所製(2灯)	1式
(7) リアバックドア	ハイマウントストップランプ 側面貼付け型LED 底面LED	1式

(8) 後方用赤色点滅灯	作動表示器小糸製作所製 (スイッチあり)	1 式
2 サイレンアンブ	N 1 6 0 - C P 0 1	1 式
	N X 1 1 - C P 0 1	1 式
3 フレキシブルマイク	N 3 5 0 - C P 0 1 (マイク・ステアリングスイッチ付き)	1 式
4 メインストレッチャー	エクステンジTC 4 0 8 0 - S 付属品込	1 式
5 防振ストレッチャー架台	スイング・サポートSK 1	1 式
	R 0 5 1 - F B 0 2 ・ R 6 1 0 - F B 1 2	
6 酸素吸入装置	オキシパックOX-ⅢS (支給品) 取付け 支給品 (加湿流量計、減圧弁 2 個、三方チーズ、配管ホース)	1 式
7 消火器	蓄圧式ABC 4 型 (リサイクルシール付)	1 本
8 患者室照明	LED室内灯 (調光式)、患者灯	1 式
9 スポットランプ (LED式)	バックドア取付け	1 式
10 エアコンディショナー	デュアル式	1 式
11 バックモニター付ナビ	メーカー公表最新型 (テレビチューナーレス)	1 式
12 サイドフラッシャーランプ		1 式
13 フロントコーナーセンサー (ON・OFFスイッチ付)		1 式
14 路肩灯	スモール連動式 (スイッチあり)	1 式
15 パノラミックビューモニター		1 式
16 デジタルインナーミラー		1 式
17 運転支援装置		1 式

第4 特殊取付品及び付属品

品 名	備 考	数 量
1 消防マーク	1 5 0 mm	1 式
2 再帰性に富んだ反射材		1 式
3 赤帯反射テープ		1 式
4 乗降口滑り止め	各乗降口	1 式
5 レスキュー資器材	6 点セット	1 式
6 照明灯	レスキュー資器材庫LED式	1 式
7 ガラスフィルム		1 式
	右側面 全面「白色フィルム」	
	左側面 スライドドア 下2/3「くもりフィルム」 クォーター部 全面「くもりフィルム」	
	後面 全面「くもりフィルム」	
8 カーテン	左スライドドア、ウォークスルー部	1 式
9 ポールスリーブ	旗立てパイプ水抜き付き	1 式
10 アウトサイドミラー	助手席用	1 式
11 ティッシュ・グローブボックス	運転席、患者室	1 式
12 ルーフネット	収納ネット (運転席、患者室)	1 式
13 インナーミラー	助手席用	1 式

14	A V Mモニター用台Ⅱ型	地図入れ付（蓋付）	1式
15	小型収納庫Ⅰ型		2式
16	地図入れ	A 3サイズ	2式
17	フック	小物吊下げ、ヘルメット用	1式
18	電動型換気扇	フィルター取替え式	1式
19	殺菌灯	(株) タムラテコ社製B T - 0 3	1式
20	アシストグリップ	患者室	1式
21	バックドアストラップ	バックドア取付け（長）	1式
22	大型アシストグリップ	バックドア左側保護パット付きグリップ 下部グリップ	1式
23	時計	患者室（アナログ・電波）	1式
24	大型縦式収納庫	棚板2段（高さ調整可） A 3ホワイトボード（マグネット式）	1式
25	ウェルパス収納庫	患者室1 Lボトル用	1式
26	ルーフサイド収納庫	左右前後側面（左前L E Dランプ）	1式
27	スライド式扉付収納庫	バックドア右側付近取付け（棚調整可）	1式
28	網棚	患者室	2式
29	自動体外式除細動器（旭化成Z O O L製 Xシリーズ）架台（吹田仕様）		1式
30	自動体外式除細動器（旭化成Z O L L製 A E D P r o）架台		1式
31	吸引器（レールダルサクシオンユニットL S U 4 0 0 0）ブラケット		1式
32	強力ライト	日動工業 L E D防爆L型ハンドライト	3式
33	縦型2段式収納庫	患者室（金属製扉）	1式
34	引出式収納庫	患者室（2箇所うち1箇所鍵付き）	1式
35	A V M収納庫	助手席後部取付け	1式
36	ストレッチャー収納庫	患者室	1式
37	汎用メディカルポール	患者室	1式
38	電流計・電圧計	コンソールボックス取付け	1式
39	出動予告スイッチ		1式
40	音声メッセージ用スイッチ	4箇所	1式
41	右左折メッセージ用スイッチ	1箇所	1式
42	後退警報器	メインスイッチ付き	1式
43	無線用スピーカー	患者室内	1式
44	インバーター	出力コンセント9口	1式
45	外部入力コンセント	出力コンセント2口 マグネット式コンセント（コード1.5m） 電源自動切換改造	1式
46	スターターカット		1式
47	小型充電器	S A - 1 2 P X	1式
48	雑音防止装置	アースボンディング	1式
49	マップランプ	助手席用L E D式	1式
50	反射チョッキ	株式会社ナカネ製カスタムメイドベストB 【吹田消防】と背中に記入（吹田仕様青色）	3式

51	訓練旗	黒文字「訓練」ポール付き（短） ポールスリーブ取付け時、出360mm	1式
52	耐刃ベスト	光防災商会 K-41（吹田仕様）	3式
53	表示マグネット	200mm×800mm 「整備搬送中」黄色下地、黒丸ゴシック文字	4枚
54	AC延長コード	2mOAコード	1式
55	携帯拡声器	サンエイ マルチライトCタイプ オプション：誘導棒、ハンマー、収納ポーチ	1式
56	安全誘導灯	ポータ工業製RKC-BR9	2式
57	汚物缶	足踏み式（山崎産業ST-M10）	1式
58	乾電池	積載品に必要とする電池	1式
59	補修用タッチペン	純正品	1式
60	資器材取付け装置		1式
61	ティッシュ・グローブホルダー（マグネット式）		3式
62	3段収納庫	患者室	1式
63	OHアングルセット		1式
		強力両面テープ付きアングルセット一式、コーナー用ゴムアングル×1 クリップ×20、クリップ落下防止用紐×15 感染症対策ビニールカーテン×（クリア 2本）	
64	感染症対策ビニールカーテン（OHアングルセット用2.1m×12.5m巻）		10本
65	ウォークスルー部 透明ビニールシート（マジックテープ付）		5式
66	車両貼付文字シール		1式
67	USB充電器	KYOHAYA JKAC3015C2WH	3式
第5	車両取付品及び付属品		
1	ヘッドライト	LED式（LOW）	1式
2	フォグランプ		1式
3	LED式灯火装置		1式
4	ドライブレコーダー		1式
	構成品		
	（1）本体	Driveman PS-2 タイプ2（SDカード脱着式モデル）	
	（2）付属品	SDカード（128GB×2） 可変ブラケット×1、リアカメラ（ブラケット含む） HDMIケーブル×1、ACアダプター×1 専用複合ソフト×1、PLフィルター×1	
5	スペアキー	3本ワイヤレスリモコンタイプ	5式
6	スタッドレスタイヤ	標準タイヤとは別、スチールホイール付	1式
7	タイヤチェーン	非金属製	1式
8	非常用信号具	三角停止板、発煙筒（付属品） 作業灯（ジェントスLEDワークライト1100ルーメン） 非常灯（ハーフルーバーLED停止表示灯）	1式

9	車輪止	ゴム製（黒）	1式
10	車両工具	ジャッキ、ホイールレンチ、ドライバー等 工具箱付き	1式
11	ドアエッジ	運転席、助手席、バックドア	1式
12	サイドバイザー		1式
13	フロアーマット		1式
14	電磁式ドアロック	集中ドアロック	1式
15	車両盗難防止装置		1式
16	座席カバー	全席	2式
17	マッドガード	全車輪	1式
18	ヒューズ、バルブ	予備ヒューズ、バルブ	1式

第6 その他

1 現物支給品

次に掲げる資器材は、当本部から支給するため、取付け等は資器材納入業者と連絡を密に調整し適切に取付けすること。

- (1) 旭化成 ZOLL 製 X Series AX-12CESN（付属品含む）
- (2) 旭化成 ZOLL 製 AED Pro AZ-ORAR（付属品含む）
- (3) メデュマット・イージーCPR（付属品含む）
- (4) レールダルサクシオンユニット LSU4000（付属品含む）
- (5) オキシパックOX-ⅢS（付属品含む）
- (6) ハイテクバックボード（モデル2010）（付属品含む）
- (7) スクープストレッチャー モデル65-EXL ピン付（付属品含む）
- (8) タブレット（現在使用品）

第7 備考

1 発注台数（車両リサイクル費用含む）

1台

自賠責保険は、当本部が登録予定日の連絡を受けた後に加入手続きをする。当本部への連絡にあつては、登録予定日の原則30日以上前に連絡をすること。

また、重量税については車両登録業者から当本部へ新規登録検査後に別途請求するものとする。

2 現車両の赤色灯等の解体撤去等

1台

納車後、現在使用している非常用救急車の赤色灯、サイレン等の解体撤去廃棄を行い、車体に損傷を与えないようカッティングシールを剥がすこと。

また、ドライブレコーダー（配線含む）を取外し廃棄し、名称表示を車体に損傷を与えないよう確実に消去すること。

なお、上記に関する手順に変更が生じた場合は、別途協議のうえ当本部の指示に従うこと。

3 納車後、当本部が所有する南消防署救急車のカッティングシールを車体に損傷を与えないように剥がし、指定するカッティングシールを貼付けること。

第8 問い合わせ先

吹田市消防本部 警防戦略室

TEL 06 (6193) 1117
FAX 06 (6193) 0100

以上